

定常変種のポストークコレクション（17）



#22

下部マージンに複数のスクラッチ傷が見られます。この切手には、他のポジションにも同様のスクラッチ傷が存在するシートがあり、一定の数の実用版分類が可能です。どうしてこのような傷が生じたのかは分かっていません。



#94

細かな定常変種が数多く同定されている切手ですが、これは例外的に分かりやすいと思います。カラーマーク（CM）が付加され始めた時期に使用されていた実用版に存在しますので、CM（暫定版）の有無で2種類集めることもできます。



#9

この切手にも定常変種が多く存在しますが、細かなものが大半で、原乾板由来の変種が一番分かりやすいということになりました。一般に“背びれの折れ”と呼ばれる変種で、図示したものには“背びれの切れ”も見られます。

